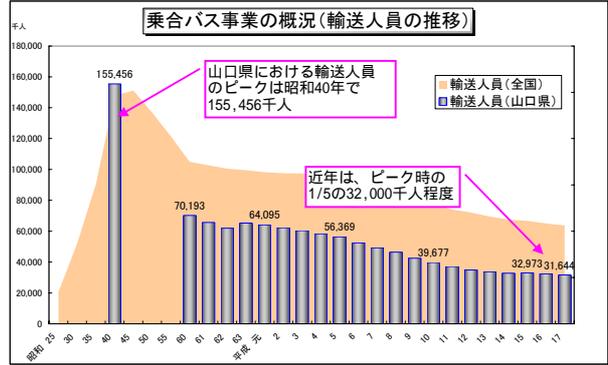
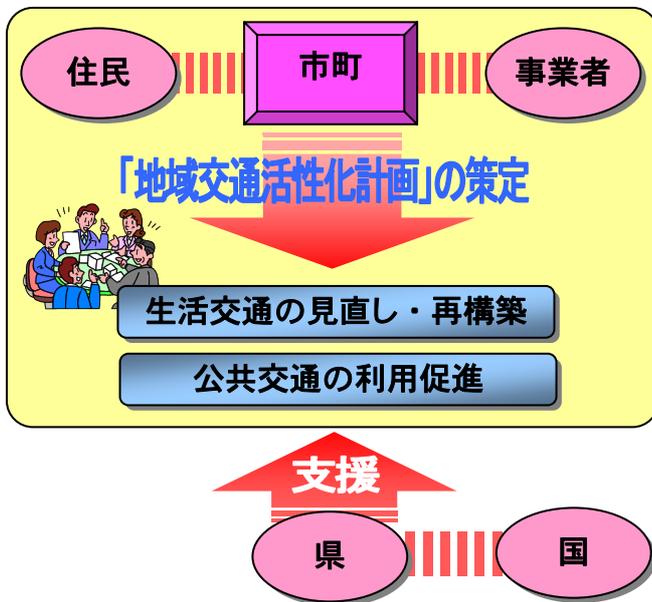


「生活交通の活性化に関する指針」(ポイント)

生活交通の現状と課題



生活交通活性化に向けた取組・視点



持続可能な地域交通

生活交通を持続的に確保するには、路線維持のコストを縮減する必要があり、利用促進により、収益の増加を図るとともに、運行ダイヤの効率化はもとより、効率的な交通体系への転換を図る必要がある。

地域主導型の生活交通

再構築にあたっては、「自分たちの交通は自分たちで守り育てる」という意識で地域住民が主体的に参画し、実際に利用することが重要。

住民参加によるまちづくり

生活交通は、まちづくりに不可欠であり、地域の重要な資源として再認識が必要。
住民参加による交通の見直しを契機として、住民主体のまちづくりを推進することが重要。

